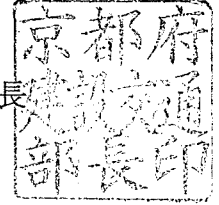


2 河 第 137 号
令和 2 年 3 月 30 日

近畿地方整備局 河川部長 様

京都府 建設交通部長



淀川水系における更なる河川整備の意見照会について（回答）

令和元年 11 月 1 日付け国近整河計第 23 号で照会のことについては、別添
意見書のとおり回答します。

なお、市町村からの意見については、別紙のとおりです。

意見書

1. 安心安全な京都づくりを支える治水対策の推進について

- ・ 淀川三川のうち最も治水安全度が低い桂川では、嵐山地区における左岸溢水対策を早期に完成させるとともに、一の井堰の改築と派川改修に切れ目なく着手いただきたい。
一の井堰については、灌漑だけでなく、景観、環境、防災など多目的に河川利用を増進する施設であり、関係者の利害を調整しつつ安全・確実に操作するには高度な技術を要することから、完成後の運用についても積極的に関与いただきたい。
また、京都府管理区間では、左岸溢水対策完成にあわせて、亀岡地区の霞堤の嵩上げを実施することとしているが、引き続き、上下流とも治水安全度が向上するよう保津峡の流下能力向上についても具体的な検討を進めていただきたい。
- ・ 宇治川では、現行整備計画に基づく堤防強化や河道掘削が完了しているものの、天ヶ瀬ダム再開発事業完成後の洪水調節や三川合流部からのバックウォーターにより、堤防への負荷が一層大きくなることが予想されることから、堤防の安全性を十分に確保できるよう、更なる堤防強化の検討を含め、適切な堤防の管理をお願いする。
- ・ 木津川では、近年出水のたびに漏水が発生していることから、堤防強化を進めるとともに、科手樋門、新西浜樋門など、内水対策として効果の高い樋門の整備等を進めていただきたい。
- ・ 天ヶ瀬ダム再開発事業(令和3年度完成予定)、川上ダム建設事業(令和4年度完成予定)については、徹底した費用の縮減を行うとともに、工期を厳守し、早期完成をお願いする。

2. 河川空間を利用したにぎわいづくりの推進について

- ・ 京都・大阪の関係市町では、淀川における舟運が地域振興や災害時の交通機能確保にも寄与するものと考え、「淀川舟運整備促進協議会」を立ち上げ、京都と大阪を結ぶ舟運復活に向け取り組んでいる。こうした取り組みに対し、実現に向け課題となる航路や船着き場の整備にご協力をお願いする。
- ・ 淀川の沿川では、河川環境、景観等を活かしたかわまちづくりや堤防のサイクリングロードとしての利用など、地域単位で河川空間の利用が進んでいるが、それらが広域的なネットワークを形成することで、より快適で安全な魅力ある空間となるような環境整備を進めていただきたい。

3. 危機管理の充実について

- ・ 近年の出水状況に鑑み、既存ダムにおいては、利水容量を含めた淀川水系既存ダム群の効果的な運用により、より大きな洪水に対しても防災操作を行うことができるよう洪水調節機能のさらなる強化を検討していただきたい。
- ・ 京都府では、危機管理センターの設置、総合防災情報システムの整備、洪水氾濫状況等のリアルタイム配信など、危機管理体制の充実を計画しており、情報共有の体制整備や危機対応において、さらに連携を強化してまいりたい。

4. 河川維持管理の充実について

- ・ 河川管理施設の効果が常に最大限発現できるよう、施設の長寿命化対策、河道内樹木の伐採、堆積土砂の計画的な撤去を適時・適切に実施していただきたい。
特に令和元年台風19号により各地で発生した堤防の決壊について、その要因を分析し、点検技術の高度化、さらなる堤防強化に向けて検討を進めていただきたい。

5. 防災・減災対策、地域の活力や安心な暮らしを支える社会基盤整備に係る予算確保について

- ・ 京都府および管内市町村の国土強靱化地域計画に位置付けた対策を推進するため、防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策に必要な予算を十分確保いただくとともに、令和3年度以降も別枠措置の継続等により、予算を安定的に確保いただきたい。
また、国土強靱化に資する対策を円滑に進められるよう、防災・減災対策に活用できる起債制度の期限延長及び対象事業の拡大をしていただきたい。

■市町村意見一覧

京都市	<p>1. 淀川水系の河川整備全般に関する意見</p> <p>(1) 治水対策に関すること<継続></p> <p>現在、宇治川では天ヶ瀬ダム再開発が、桂川では、緊急治水対策として、河道掘削や堰撤去などが実施されている。引き続き、堤防強化を含め、河川の増水を安全に流下させるための十分な治水対策を進めていただくとともに、今後予想される気候変動による降雨量や流量の増加、水位の上昇を考慮した万全な治水対策をお願いしたい。特に桂川においては本市流域と淀川本川における上下流バランスの解消に向け、早急に更なる治水対策の推進をお願いしたい。</p> <p>(2) 消防活動に伴う吸水箇所の整備について<新規></p> <p>震災等の大規模災害発生時には、水道消火栓などは破損等により使用ができなくなる可能性がある。河川は、長時間供給が可能な大量の消防水利であり、大規模災害発生時は非常に重要な水源となることから、河川整備に併せ、消防車で容易に河川から吸水できる箇所の整備をお願いしたい。</p> <p>(3) その他<新規></p> <p>本市ではソフト対策を強化するため、「まるごとまちごとハザードマップの設置」や「他機関連携タイムラインの作成」について、実施を予定している。当該事業の実施に当たっては、更なる連携と支援をお願いしたい。</p> <p>2. 桂川に関すること</p> <p>(1) 嵐山地区治水対策工事に関して<継続></p> <p>平成25年の台風18号以降、桂川では6号井堰及び4号井堰の撤去や河道掘削等、治水対策を順次進めていただいております。令和元年度から嵐山地区において左岸溢水対策工事に着手されるなど、着実に進められているところだが、嵐山地区における「一の井堰改築」「派川改修」の整備等、今後も引き続き治水対策工事の推進をお願いしたい。</p> <p>(2) 治水対策工事による整備効果等や情報発信について<新規></p> <p>淀川河川事務所が行う治水対策工事による治水安全度の向上などの整備効果について、近接住民に十分伝わっていないケースが多いと感じている。市民の防災意識向上に伴い、本市へ桂川の治水安全度等に関する問合せが多くなっているため、今後、治水対策工事における整備効果等の情報をより細やかに発信していただきたい。また、桂川については、地域の防災活動に活用するため、越水の危険度が高い箇所や破堤の危険性が高い箇所などが把握できる情報の提供をお願いしたい。</p> <p>(3) 維持管理に関して<新規></p> <p>桂川に隣接する地域から、河川敷地内の立木や堆積土砂の撤去要望が本市に寄せられている。今後、より細やかな維持管理をお願いしたい。</p>
-----	--

	<p>(4) 堤体の健全化について<新規></p> <p>堤防上の認定道路において、路面に亀裂が縦断方向に発生している箇所がある。占有者である道路管理者で舗装の補修を実施しているが、再度、同様の事象が起こっていることから、抜本的な対策を検討する必要がある。堤防の管理者である国土交通省において、堤体の健全度調査や堤防強化等の対策検討をしていただきたい。</p>
宇治市	<p>昨今の全国的な水害、気候変動を踏まえると、現行の河川整備計画に基づく河川改修で防ぎきれない洪水も発生している為、現行計画以上の洪水を対象とした更なる河川整備を要望する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 宇治川堤防の強化対策の推進 <p>近年の気候変動に伴う集中豪雨や天ヶ瀬ダム再開後の後期放流の流量増大等を見据えた、宇治川堤防の新たな強化対策や堤防浸透対策の検討及び促進</p> 2. 三川合流（宇治川・桂川・木津川）部の水位低下 <p>三川合流部の水位上昇に伴い発生する背水により上流域における堤防への負担を軽減するため、三川のダム群の機能強化や上下流バランスを考慮した河道掘削など、流域一体となった効果的かつ効率的な治水対策による三川合流部の水位低下の促進</p> 3. 天ヶ瀬ダム再開事業の早期完成 <p>現在、実施されている天ヶ瀬ダム再開事業において、近年激甚化している豪雨に対する防災・減災などの効果発言を図るため、当該事業の早期完了</p> 4. 大戸川ダムの早期事業着手 <p>天ヶ瀬ダム再開事業と一体となって効果が発揮される、瀬田川洗堰の全閉操作を含めた大戸川ダム本体工事の早期の事業着手</p> 5. 宇治川小径整備の推進 <p>地域住民の健康増進、宇治川周辺に存する歴史・文化遺産の回遊性の向上など観光振興に資する宇治川堤防の天端等を活用した遊歩道の整備促進</p> 6. 天ヶ瀬ダムを観光基盤とした周遊性を高めた観光 <p>天ヶ瀬ダムを含めた周辺施設（旧志津川発電所、天ヶ瀬森林公園、旧ガーデンズ天ヶ瀬跡地に整備する駐車場等）の観光資源としての活用や観光に必要な河川管理施設の整備促進</p> <p>また、河川空間で営利活動を実施する場合における河川占用敷地許可準則 22 条に基づく、都市・地域再生等利用区域の指定等の支援</p>

<p>亀岡市</p>	<p>◆淀川水系一級河川桂川（亀岡市域）の治水対策について</p> <p>上流の日吉ダムでは、状況に応じた放流調整をして頂いている他、市域の河川改修事業についても保津工区の整備を鋭意進めて頂き、平成 29 年度には高水敷の掘削が完了し、現在、高水護岸などの整備や保津工区の霞堤の約 1m の嵩上げ、その他上流区間の霞堤嵩上げに向けた調査設計を進めていただいています。</p> <p>しかし、ダム調整により洪水時における水位低減効果が発揮されたところではありますが、桂川中流部の亀岡市域におきましては、保津峡狭窄部があるため、平成 16 年 10 月の台風 23 号、平成 25 年 9 月の台風 18 号等の豪雨や平成 30 年 7 月豪雨では霞堤から溢水するなど、浸水被害が生じたところであり、これからも大型台風や局地的な集中豪雨など予想を上回る雨量による水害の不安は、払拭できないのが現状であります。</p> <p>今日まで幾多の被災に遭遇してきた地域住民にとって、悲願ともいえる桂川の河川改修事業を一日も早く完了して頂き、水害から市民の生命と財産を守り、安全で安心な市民生活が確保されますよう強く要望するものであります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 桂川河川改修（亀岡市域）事業の促進、特に「保津工区」については、淀川水系桂川上流圏域河川整備計画に基づく昭和 28 年洪水に対応した整備の早期完成、さらには桂川改修全体計画による基本計画に基づく整備の実現と、段階的に治水安全度を高めていくよう事業促進をお願いします。 2. 現在事業中の国土交通省直轄区間における嵐山左岸溢水対策事業の完了後、速やかに霞堤の段階的な嵩上げを実施すると共に、亀岡市が行う内水処理対策等と連携を図るようお願いします。 3. 桂川「保津工区」の整備促進のためには、下流域との流下バランスが必要であることは理解するものです。このため、国土交通省直轄区間における治水安全度の向上について、国に強く要望して頂きますようお願いします。 4. 桂川右岸（千々川合流部から犬飼川合流部までの間）については、堤防の脆弱性が懸念されており決壊の恐れがあるため、堤防補強等を早急を実施されるようお願いします。 5. 桂川の河川機能の確保を図るため、低水路部の堆積土砂や樹木の取り除き等を積極的かつ継続的に実施して頂きますようお願いします。 6. 桂川に流入する各支川（年谷川、西川、鶴ノ川、雑水川、曾我谷川、愛宕谷川、七谷川、犬飼川、千々川）につきましても、近年の集中豪雨で氾濫被害が発生している状況から、早期に治水安全度の向上をお願いします。合わせて、河川断面を阻害している堆積土砂や樹木等の取り除きを早急を実施されるようお願いします。 7. 各河川の沿川住民の警戒避難体制の強化のため、河川防災カメラの夜間の視認性向上や日吉ダムの放流量及び放流開始の事前通知や各河川の水位等の情
------------	--

	<p>報がより住民に周知できるシステムの整備をお願いします。</p> <p>8. 桂川「保津工区」河川改修に伴う高水敷を含む河川空間の利用については、地元の要望を尊重して整備を図って頂きますようお願いいたします。</p> <p>◆淀川水系一級河川桂川（国直轄区間）の治水対策について</p> <p>淀川水系一級河川桂川「亀岡市域」の河道整備と下流部である国直轄区間の治水対策について、なお一層の事業推進を図っていただきますよう下記のとおり要望いたします。</p> <p>桂川の治水対策は、日吉ダムの管理と狭窄部の開削を前提としたもので、その実施による水害解消は悲願であり、開削方法を含めた河川整備の実現が必要です。</p> <p>京都府管理区間においては、亀岡地区のうち保津工区を重点的、段階的に整備が進められていますが、保津峡の狭窄部での堰上げにより治水安全度は極めて低く、平成16年の台風23号、平成25年の台風18号及び平成30年7月豪雨と同規模の出水では、依然として大規模な浸水被害が発生している状況です。</p> <p>また、支流の一級河川においても未改修箇所が多く、局地的な集中豪雨など予想を上回る雨量による被害をもたらしてきました。このため、水害から市民の生命と財産を守り、安全で安心な市民生活が確保されるよう京都府へ強く要望しているところであり、国におかれましても絶大なご配慮をお願いします。</p> <p>淀川水系三川のうち最も治水安全度が低いとされる桂川については、京都府管理区間（上流）と国土交通省管理区間（下流）の上下流バランスを確保しながら、段階的に改修を進める必要があることから、上流域の改修促進には、国直轄区間における流下能力向上が不可欠であります。</p> <p>このため、整備目標である昭和28年洪水を安全に流下できる治水対策の実現に向け、平成25年台風18号災害に係る緊急治水対策による河道掘削や「大下津地区」の築堤等の事業推進がなされ、「嵐山地区」については、景観等に配慮した河川整備を早期に完成されますようお願いいたします。</p> <p>◆淀川における市町村管理河川の治水対策について</p> <p>淀川水系支流の市町村管理河川においても、改修等が実施できていない箇所が存在しています。できることなら早期の改修等が必要と考えていますが、財政的な面で実施できていないのが実情です。つきましては、市町村管理河川の改修や内水処理対策への補助制度を拡充いただき、淀川水系支流を含めた総合的な整備が推進できるようご配慮をお願いします。</p> <p>◆文化・スポーツに関することについて</p> <p>亀岡市域の桂川右岸に隣接する京都府立京都スタジアムが完成し、高水敷内の広場等も整備される中、亀岡市では、亀岡まるごとスタジアム構想検討会議を開催し、スタジアムを中心とした観光・スポーツの拠点としていきたいと思っております。</p>
--	--

	<p>そこで、自然豊かな地形等を活かしたアウトドアアクティビティがさらに楽しめる環境整備をお願いしたいと思っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・桂川に安全に乗船できるためのラフティング乗船場の整備 ・宿泊もできるキャンプ場の整備、グランピングなど ・周辺を周回できるランニング・サイクリングコースの整備 <p>◆防災減災に関することについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大規模化・激甚化する災害に対し、引き続き河川改修をお願いしたい。 ・河川を住民と身近なものにし、河川災害（水害）を自らに係ることと認識させる意識を醸成させる事業が必要であると考えます。 <p>◆希少生物に関することについて</p> <p>桂川には、天然記念物であるアユモドキなどの希少種が生息していることから、平成 30 年 8 月に京都府が策定された「淀川水系桂川上流圏域河川整備計画」に基づいた河川整備を進めて頂きたい。</p> <p>◆公園施設に関することについて</p> <p>現在亀岡市で進めている京都・亀岡保津川公園整備事業については、一級河川桂川及び曾我谷川と隣接していることから、今後の河川整備において当公園整備計画との整合や連携した取り組みができるようご協力をお願いします</p>
城 陽 市	<ul style="list-style-type: none"> ・「防災・減災、国土強靱かのための 3 か年緊急対策」に基づく、堤防強化の促進 ・洪水時の避難や水防活動に役立つライブカメラの増設
向 日 市	<p>○ J R 向日町駅周辺地区のまちづくり</p> <p>本市の中心部に位置する J R 向日町駅周辺地区において、駅前にふさわしい商業・業務・サービス・居住等の多様な機能集積を目指し、駅前広場や自由通路等の公共施設の整備や市街地再開発事業（約 1ha）の実施に向けた取り組みを進めているところであります。</p> <p>○ 森本東部地区のまちづくり</p> <p>本市の東部に位置する森本東部地区において、新たな産業拠点の形成を目指し、都市計画道路の整備や都市基盤整備を進める土地区画整理事業（約 12ha）が施行中であります。</p> <p>また、日本電産株式会社が、本地区の事業用地への進出を表明されており、業務・製造・研究開発を目的とした大規模な事業所が立地する予定であります。</p> <p>○ 阪急洛西口駅西地区のまちづくり</p> <p>本市の北部に位置する阪急洛西口駅西地区において、ホテル誘致など新たなま</p>

	<p>ちづくりを目指し、地権者によるまちづくり協議会と、事業協力者である京阪電鉄不動産株式会社が、土地区画整理事業（約 8ha）の実施に向けた取り組みを進められております。</p> <p>これらのまちづくりの推進は、地域の活性化や、雇用や税収の増加につながるため、本市の最重要施策に掲げ、早期実現に向けて、全力で取り組んでいるところであります。</p> <p>以上のことから、桂川の支川流域に位置する本市において、支川の水位を早期に低下し、内水氾濫の浸水リスクが低減できるよう、桂川の改修を早期に進めていただきたくお願い申し上げます。</p>
長岡京市	<p>1. 桂川の堤防強化</p> <p>本市の東部には交通の便の良さを背景に、数多くの企業、工業や住宅が立地していますが、そのほとんどは桂川が氾濫した際の浸水想定範囲に含まれており、堤防の破堤により甚大な被害が出るリスクを抱えています。つきましては、引き続き堤防調査等を行い、桂川の堤防強化未改修区間の事業実施に向け、特段のご配慮をお願いいたします。</p> <p>2. 河道の適切な維持管理により本川・支川の水位低下</p> <p>桂川の河道の適切な維持管理により、支川である小畑川、小泉川の水位が低下し浸水リスクが低減されており、沿川部での住宅開発、定住促進につながっています。さらなる定住促進、企業誘致につながるよう、今後も継続して河道の適切な維持管理をしていただきますよう要望します。</p>
八幡市	<p>1. 淀川流域一体となった効果的かつ効率的な治水事業により三川合流部の水位低下</p> <p>2. 上津屋樋門における内水強制排除施設の整備及び八幡排水機場の適切な維持管理、ポンプ機能の増設・施設の更新、科手樋門の整備</p> <p>3. 近年発生している大雨や台風の災害に対応した堤防強化の促進</p> <p>4. 三川合流部の景観や水と緑を生かしたレクリエーションの拠点として更なる活用（さくらであい館、舟運の再生、御幸橋野草地区の整備）</p> <p>5. 上流ダム群（天ヶ瀬ダム（再開発）、川上ダム、大戸川ダム）の事業促進</p> <p>6. 河道内樹木及び堆積土砂の適正な管理及び河川構造物の耐震化</p> <p>7. まちづくりと一体となったサイクリングロード等の魅力ある水辺空間の創設</p>
京田辺市	<p>1. 治水・防災</p> <p>今後の気候変動により増大する水災害リスクを踏まえ、特に内水による水害に備えるため、新西浜樋門の整備や、久保田樋門への強制排水ポンプ設置を進めていただきたい。</p>

南丹市	<ol style="list-style-type: none"> 1. 昨年7月の豪雨で日吉ダム運用開始以来、初めての異常洪水時防災操作により、ダム直下の桂川で越流し、田畑や道路が冠水いたしました。洪水調節に係る諸課題の解決及びより効果的なダム運用についてのご検討をいただき、今後の対応をお願いしたい。 2. 度重なる豪雨や台風により、河川全体的に堆積土砂が多く、河床が上昇している状況にある。堆積土砂の早期撤去と流水を阻害する樹木の伐採等桂川下流域の安全度を高める事業についての更なるスピードアップを強く望む。 3. 桂川最上流に位置する本市では、地域に開かれたダムとして、日吉ダム水源地域の活性化を図っており、地元地域と共催で夏祭りを実施するなど地域活性化事業に力を入れている。本地域の特性を活かし、今後は宿泊施設の計画を検討するなど更なる活性化とより魅力ある水辺空間の創出に向けた取り組みを進めていきたいと考えているため、地域連携等について特段のご高配を賜りたい。
木津川市	<ol style="list-style-type: none"> 1. 木津合同樋門における内水排除対策について 過去から木津川増水時に内水被害を受けている旧木津町中心市街地は、市役所、木津警察署、京都山城総合医療センター等公共施設が立地し、東西南北にJR各線や国道などが交わる交通の要衝となっています。 樋門閉鎖に伴う内水対策として、排水設備の増強や排水ポンプ車の配備を行っておりますが、浸水被害の解消には至っておらず、排水設備の増強が必要と考えており、対策の具体化に向けた検討を行っております。 洪水と内水の氾濫・浸水と再度災害を防止する観点での連携と支援をお願いします。 2. 堤防強化の早期実施について 近年の異常気象や気候変動の影響などから風水害の頻発化や激甚化が著しく、本市においても大規模な災害の発生をより危惧しているところです。 現在進めていただいている木津川堤防強化事業の着実な対策の実施をお願いします。 3. 護岸工事の早期着手について 木津川増水時における浸食や河床低下などに対し、鹿背山地区、河原地区の無堤防地域、恭仁大橋上流地内の隣接集落や右岸国道163号及び左岸JR関西本線の浸食、山城町椿井地区の右岸の浸食について、計画的な護岸工事による対策をお願いします。 4. 赤田川樋門改修事業関連について 旧樋門の撤去工事等の残工事と密接に関連する（主）天理加茂木津線との連携をお願いします。

	<p>5. 適正な河道の維持管理（堆積土砂の撤去、立木の伐採）について 河道内の増水時における流水の妨げとなる立木や堆積土砂の計画的な撤去をお願いします。</p> <p>6. ダムの適切な放流管理等について 令和4年度完成予定の川上ダム建設事業の着実な進捗を図るとともに、高山ダムの更なる治水機能の強化に資するダム流入量の予測精度向上や事前放流のルール化などの木津川上流ダム群の運用改善に向けた検討をお願いします。</p>
大山崎町	<p>桂川では、戦後最大洪水に匹敵する平成25年台風18号を上回る平成30年7月豪雨に対しても、大きな被害を軽減する効果が確認されています。なお、三川合流部においては、今後の気候変動による流量の増加により、同時に合流する洪水の増加が懸念されます。上流ダム群による洪水調節により水位低下による洪水対応は図られるものと考えられますが、三川合流部の直近に位置する本町では、背水の影響を大きく受けることとなります。</p> <p>今後、実施されます、戦後最大洪水（昭和28年台風13号洪水）対応の桂川整備にあたっては、三川合流域の特性を踏まえ、上下流のバランスを勘案し、安全に流下できるよう整備を進めていただきますようお願いします。</p>
久御山町	<p>◎宇治川・木津川・桂川の三川合流の治水対策について 宇治川・木津川・桂川の3つの大きな河川については、それぞれの上流域の降水量の影響だけでなく、三川合流地点における水位上昇にともなって、他の河川の流量の影響を受けることとなります。</p> <p>特に宇治川下流域は、かつて巨椋池が存在していた低地であり、一度氾濫すると長期間に渡って浸水が続く恐れがあることから、本町内においても久御山排水機場が設置され、大雨の際は稼働して洪水等の被害軽減を図っていただいておりますが、近年の気候変動に伴い、過去に経験したことがない豪雨や台風が広域で被害を及ぼした場合、本線である三川の合流点から背水（バックウォーター）の影響を受け、宇治川の水位が急激に上昇することにより、計画水位を超え久御山排水機場のポンプを停止しなければならない事態が生じたり、また、水位の高い状態が長時間続くと宇治川堤防を決壊させる恐れがあることから、3河川の水量を総合的に見込んだ河川整備を今後も計画的に進めていただきたい。</p> <p>◎サイクリングロードの整備について 自転車は、地球温暖化に影響を与える二酸化炭素の排出がないことから、自然環境に優しくエコな移動手段として見直され、また、昨今は住民の健康推進のためにも利用を促進させていることから、安全に走行できるサイクリングロードの整備を推進していくことが見込まれています。</p>

	<p>特に、河川堤防を利用したサイクリングロードは、川の近くの自然を感じ取ることができ、やすらぎと憩いの空間として注目されており、また、本町でも「くみやま文化・歴史ガイド」としてサイクリングのモデルコースを提供するなど地域活性化、地域観光の基盤施設として、今後も重要になってくることが見込まれることから、今後、河川整備と併せて、順次魅力あるサイクリングロードの整備を図っていただきたい。</p> <p>◎河川内堆積土砂の撤去及び樹木の伐採について</p> <p>近年、地球温暖化の影響で想定を越える台風や豪雨等の自然災害が毎年各地で頻発しているなか、堤防の決壊等甚大な被害が発生した地域では、河川に堆積した土砂や繁茂した樹木により、河道の流れを妨げたことが被害の拡大をまねいた一因と思慮されることから、計画的に河川の浚渫、樹木の伐採等を継続的に実施していただきたい</p>
井手町	<ul style="list-style-type: none"> ・国道 24 号堤防道路区間におけるサイクリングロードとしても利用できる河川管理用通路の整備など魅力ある河川環境を生かした施策の推進 ・流水を阻害している河道内樹木等の伐採や堆積土砂の除去など、良好な環境を維持するための適正な管理の推進 ・樋門閉鎖により発生する浸水被害を最小限とする河道掘削や上流ダムの操作改善 ・災害時に出動する排水ポンプ車等装備の充実
宇治田原町	<ul style="list-style-type: none"> ・淀川水系における更なる河川整備について特に意見はありません
笠置町	<p>◇木津川・笠置町地内の護岸整備及び維持管理について</p> <p>一級河川木津川の笠置町切山地内・北笠置地内並びに飛鳥路地内(総延長約 2,400m)における河床低下に伴う堤外地の浸食対策として、護岸工事と増水時に流水を妨げる恐れのある笠置大橋周辺～有市潜没橋区域内の立木伐採を実施していただいたところであり、今後も継続的な維持管理を要望します。</p> <p>また、有市地内、木津川右岸約 500mの区間は、木津川上流域の降雨出水により、度々国道 163 号の溢水 溢水、家屋浸水の危険にさらされているため、付近住民の生命と財産や施設が確保され、安心安全な生活を確保されるため、早期に道路管理者と連携した護岸改良の実施を要望します。</p>
和束町	<p>平素は、「治水」「防災」「減災」にご尽力賜り衷心よりお礼申し上げます。</p> <p>さて、この度ご照会いただきました「淀川水系における更なる河川整備」について、下記のとおり河川整備要望とします。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・木津川中流域における河川整備計画の早期策定について 本町は、淀川流域の中流域に位置し、木津川右岸(和東町木屋地区)に約3 km接し、町の中心部を和東川(木津川支川)が約15 km、面積64.93 km²、そのすべてが木津川の流域面積に含まれます。 木津川は、上流ダム群の整備により、近年の局地的集中豪雨においてもダムの洪水調整により、近接する木屋地区においては浸水すること無く、地域住民の安心安全は担保されていますが、その護岸は自然河岸であり非常に泥弱で、年々侵食が進んでいることは言うまでもありません。本年事業化いただきました「かわまちづくり支援事業」では、約500mの護岸整備を施工していただくこととなっています。また、対岸(木津川左岸)は山づげでもあり、その山腹には関西本線の軌道が位置し、当路線全線の中でも最も危険な箇所と認知されています。当地域においては河川計画が未確定であり、治水防災減災機能としての明確な基準がないことは言うまでも無く、早期の計画策定、治水事業の実施をお願いするところです。 ・環境護岸の整備について 「和東町木津川かわまちづくり支援事業」への潤沢な予算確保については、近年過疎高齢化が進む本町においても、木屋地区高齢化率は群を抜き高く、地区高齢化率は70%(65歳以上)に到達しようとする勢いです。今回の事業による地域の活性化、IターンUターンの招致につなげるだけでなく、国道163号通過車両への潤いの場としての提供など、河川洪水敷きの利活用は、多機能を期待でき、「道の駅」同様「川の駅」として、将来的には、水運の活用などにもつなげていきたいと計画しているもので、近隣自治体ともネットワークを強固に固持し、進めたいと考えています。
精 華 町	<ul style="list-style-type: none"> ・近年の災害に対する安全確保のため、引き続き堤防強化工事の着実な対策の実施をお願いします。 ・流水を阻害している河道内樹木の定期的な伐開を行う等、適正な河川管理をお願いします。 ・木津川増水時における樋門閉鎖に伴い内水排除ができずに内水被害を受けているため、内水排除設備の整備に対し支援をお願いします。
南山城村	<ul style="list-style-type: none"> ・大河原地区・田山地区の河川の継続的な維持管理及び早期の護岸整備 ・気候変動を考慮して水災害リスクを低減する減災対策